

北九州市開催 <北九州ミニ焼きうどんラウンド> H26.4.6(SUN) 北九州市立西小倉小学校

北九州ミニ焼きうどんラウンドが開催されました。

(参加者: 小学校教職員 22 名、中学校教職員 3 名、指導主事 1 名、大学教員 2 名、学生 7 名、日田市から小学校教員 2 名、飯塚市から中学校教員 1 名 合計 38 名)

1 開催の経緯

今年の平成 26 年 7 月 24・25 日北九州市で「第 58 回全国小学校体育科研究集会」が開催されます。そのご縁で北九州実行委員会と清水先生が勉強会を開催することになりました。折角の機会ですので、九州ネットワークにも声をかけ、より多くの方に集まっていただく運びとなりました。

**2 岩手大学 清水 将 先生による講義**

清水先生から学習指導要領の構造や指導と評価に関する基礎的な話をさせていただきました。学習指導要領が変わっても、その変化を構造的に捉える機会が現場には、少ないだけにより勉強になりました。短い時間設定しかできず、先生に用意していただいた資料を十分に解説いただけないかったことを反省しています。

**3 単元構造図作成を行いながらのグループワーク**

単元構造図は、いろいろな研修で取り上げられているものの、北九州ではまだまだそれに取り組んで学習指導要領の内容を的確に指導計画に反映させようという動きは少ない現状です。北九州市では、「スタンダードカリキュラム」というもの作成し、それに基づいて指導内容や方法の水準を保たせようとしていますが、その根拠となる、学習指導要領の解説に示された内容との関連や意図が理解されていない現状もありました。



今回、清水先生自作の付箋紙を利用した段階的・張り替え作業を取り入れた単元構造図作成を行いました。参加者は、校種や立場が入り混じるグルーピングを行い、活発な議論を重ねました。発達の段階による内容の捉えの逆転やどうしても高い内容を比較的早期のうちに指導してしまう傾向が見られるなどの課題や、学習指導要領の意図することを再確認することができるよい機会となりました。

**4 前日研修・振り返り**

清水先生は、前日の日本体育学会の理事会の帰りに、九州まで足を伸ばして(伸ばしてというには遠い、関門海峡を渡ってありがとうございます。)北九州までおいでいただきました。体育の素晴らしさを北九州の体育を牽引する先生方と当日の研修に向けて、日付が変わるまで熱く語り合いました。

当日のまとめの中では、学期はじめの忙しい中、この研修に集まった多くの方の熱を感じたことや、新しい年度を迎えて、この研修で学んだ「指導と評価の一体化」は、すべての教科に通ずる基本として心にとめておく必要があることが振り返られました。困ったときには、この研修の内容に立ち返って、頑張ろうと話されました。また、さまざまな立場を越えた「体育好き」が集まる会になったことに意義を感じた一日でした。

5 「北九州ミニ焼きうどんラウンド」の第二ラウンドのお知らせ

- 日時:平成26年5月17日(土曜) 今回のラウンド「北九州ミニ焼きうどんラウンド」の第二ラウンドを行います。
- 詳細は、改めてお知らせします。(清水先生ありがとうございます。)

(報告:青木)

